

令和5年度 事業報告ならびに収入支出決算の お知らせ

2024年12月2日に健康保険証が廃止となります。

健康保険証は廃止となり、以降、マイナ保険証に一本化されます。

加入されている皆さまの混乱を防ぐため、
随時ホームページや広報誌等で広報を行ってまいります。

8ページ(裏表紙)に、現段階でのスケジュールを掲載しております。
社員の皆さまへのご案内にご協力をお願いいたします。

2025
TJK 50th

—TJKは2025年に設立50周年を迎えます—

TJKパーパス

“健康”をつくる。“生活”をつくる。“安心”をつくる。

CONTENTS

令和5年度 決算のお知らせ	2
令和5年度 事業の概要(適用関係・給付関係)	4
令和6年4月採用実績報告	5
令和5年度 健康管理事業	6
令和5年度 健康増進事業	7
健康保険証の廃止について	8

令和5年度 決算のお知らせ

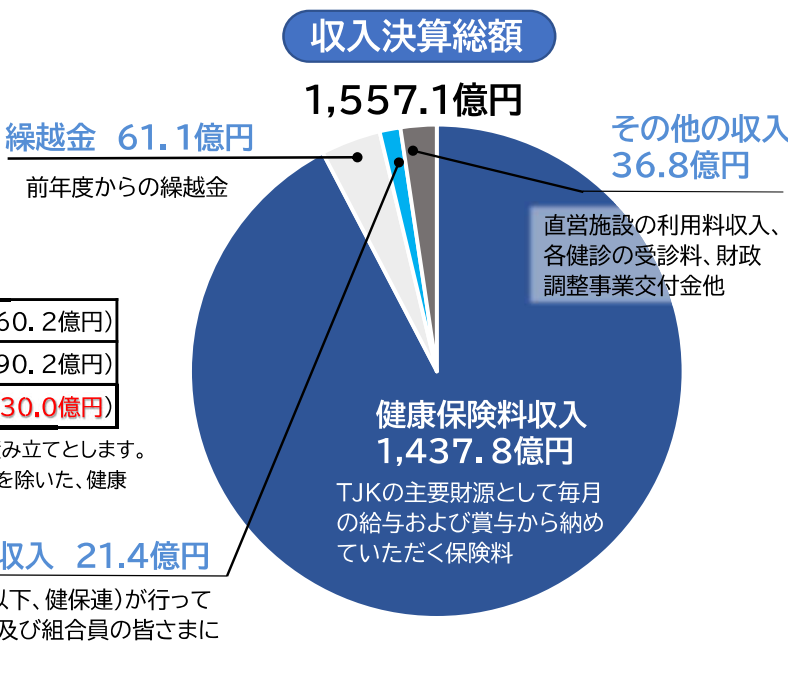
■基礎数値

加入員数	被保険者数	300,279人
	被扶養者数	140,669人
平均標準報酬月額		383,465円
年間平均賞与額		925,396円

■収支まとめ — 経常収支差引マイナスは8年ぶりとなります。

収入総額(経常収入)	1,557.1億円(1,460.2億円)
支出総額(経常支出)	1,532.8億円(1,490.2億円)
収支差引※1(経常収支※2差引)	24.3億円(▲30.0億円)

※1 収支差引額24.3億円は令和6年度への繰越金と準備金への積み立てとします。
※2 経常収支とは繰越金などの一時的な収入と営繕費などの支出を除いた、健康保険組合の経常的な収入と支出です。



収入の状況

保険料率は12年同率(8.9%)維持、健康保険料収入1,437.8億円

- 現年度収入の他に前年度残金61.1億円を繰越。当初予算準備金繰入16.4億円を予算化したものの、高齢者負担金の予算比減等により繰入金は未発生。

支出の状況① 保険給付費

P 4 へ

コロナ5類移行後も、医療費増の要因となる。医療費総額は前年対比9.4%増

- コロナ5類、しかし、疾病自体は一定規模で流行。罹患者の医療行為は継続的に発生、通常の医療行為の回帰とともに、医療費上昇の要因となった。
- 傷病手当金については前年度の一時的なコロナ罹患者の請求は減少したものの、業界特有のメンタルヘルス関連での休職への給付が恒常的に発生。
- 呼吸器系軽傷疾患者の外来医療に連動する調剤費の伸びが顕著、医療費総額591.5億円は前年比9.4%増。

支出の状況② 高齢者医療制度への負担金

迫りくる“2025年問題”、さらに将来的な“2040年問題”への対応等、課題は山積

- 目前の“団塊世代完全後期高齢者入り”。さらに将来的な“2040年問題(団塊ジュニア65歳以上、団塊世代90歳到達)”。
- 一方、令和5年度の出生数は72.1万人と過去最少、少子超高齢社会と人口減少等、全世代型社会保障の構築に向けて課題は山積。
- 少子高齢の人口動向から国へ拠出する高齢者医療負担金増額は不可避。
- 加入員増加による追加請求と合わせて総額650.7億円(前年対比99.2億円増)を支出。

【高齢者負担金の推移】



去る令和6年7月11日に開催された第120回組合会において、令和5年度事業報告ならびに決算報告が承認されましたので、その概要をご報告いたします。

健康管理事業・健康増進事業の費用 107.9億円

健診やメンタルヘルス事業、保養施設の運営やフィットネス施設の利用契約など、スケールメリットを活かした付加価値の高いサービス事業のための費用

健診・メンタルヘルス事業・予防接種等	70.5億円
保養施設・運動施設等	34.2億円
広報事業	3.2億円

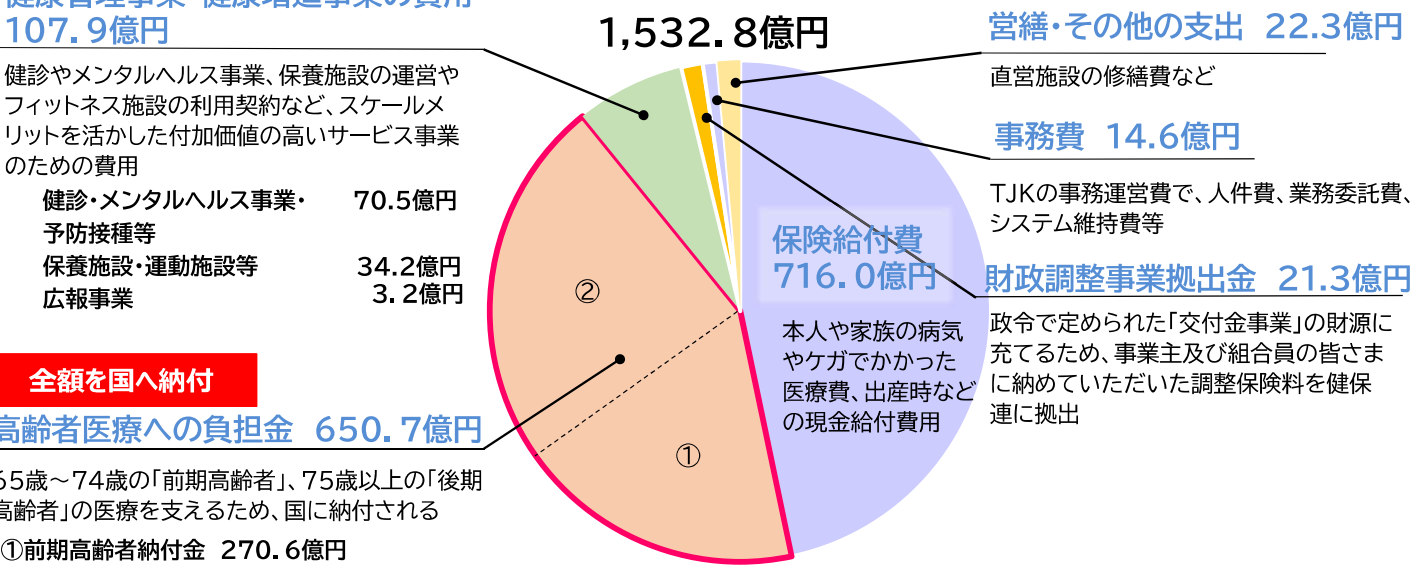
全額を国へ納付

高齢者医療への負担金 650.7億円

65歳～74歳の「前期高齢者」、75歳以上の「後期高齢者」の医療を支えるため、国に納付される

- ①前期高齢者納付金 270.6億円
- ②後期高齢者支援金 380.1億円

支出決算総額 1,532.8億円



支出の状況③ 健康管理事業費

P 6 へ

直営・契約健診含めた総受診者数は28.3万人、受診率81.6%は過去最高値

- 直営健診センター2施設では受診枠を段階的に増加させ、前年対比で約8,000人枠増。直営開設以来、最高の年間67,002人受診(専門検診含めて70,422人)。
- 直営健診でのキャンペーンや契約健診機関受診申出窓口の創設、対象者の居住地域に応じた受診奨励DM送付等、積極的な受診奨励策を実施。
- 健康診断以外にも、加入各社の健康経営支援、メンタル疾患予防対応セミナー、加入員の腎症重症化防止、生活習慣病予防事業等、プライオリティの高い健康管理事業として、多様な対策を実施。

支出の状況④ 健康増進事業費

P 7 へ

健康投資額34.2億円。“TJKらしさ”を象徴する付加価値事業を遂行

- 高品質・高満足度の直営TJKリゾートは“安近短”で“最良のおもてなし”を提供。平日稼働率、利用人数(初の10万人超)ともに過去最高値を更新。
- 直営『アルペンドルフ白樺』『TJKリゾート金谷城』は令和4年度より3か年計画“将来につながる新しい挑戦(プラス価値、プラス魅力)”事業の2年目に着手。
- 全国に在住、増加する加入員の皆様に対するサービス維持・向上のため、年間借上、夏季借上の大幅増設。
- 新たに“週末借上”契約、さらにファミリーイベント等の募集人数や回数増、女性ニーズに応えたホットヨガ“LAVA”との契約等、“より広く、より多く”の方への価値提供。

今後の見通し

- 令和6年度以降は100億円を超える準備金繰入(取崩し)は不可避。
- 令和8年度には保険料率の見直しが必須の状況。

■介護保険の決算 — TJKは市区町村が運営する介護保険の代行として介護保険料を徴収しています

介護保険料率は令和4年度同率の1.80%を維持、収入総額163.3億円、支出総額163.1億円となりました。収支差引額0.2億円は令和6年度への繰越金とします。

介護保険制度—40歳以上の方が保険料を負担し、要介護状態のときに費用の1～3割を自己負担することで介護サービスを受けられる制度。

令和5年度 介護保険決算数値

基礎数値		収入		支出	
被保険者数	166,188人	介護保険収入	163.3億円	介護納付金	163.1億円
納付者数	133,187人				

事業の概要(適用関係・給付関係)

適用の状況

<加入員数>

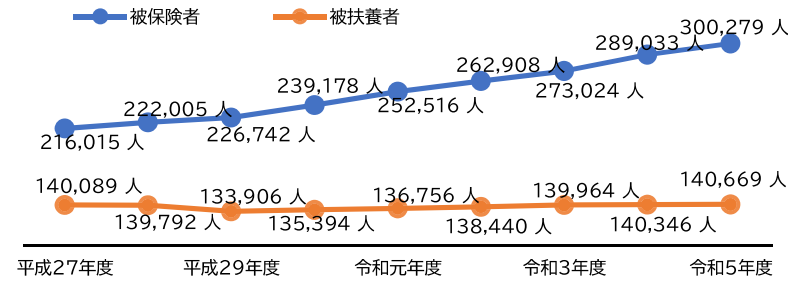
- デジタル社会の趨勢、旺盛なICT環境、人材流動性の高まりがみられる(採用5.5万人、退職4.4万人)。
- 被保険者数は過去最高30.0万人(前年比1.1万人増)。
- 被扶養者数は、育児休業関連法の改正、短時間労働者の拡大、夫婦共働き世帯の増加等、社会的な労働者拡大の方向性により前年比微増の14.1万人。被保険者数の伸びとの関係性で、扶養率0.47人はここ10年間、低減傾向。

<報酬月額・年間賞与>

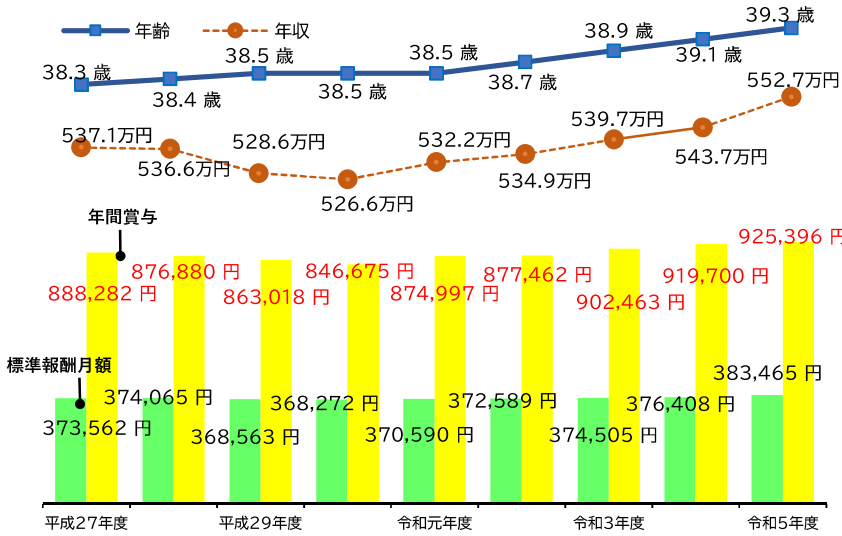
- ICT人材の需要、優秀な人材確保のための賃金改善の広がりは拡大。
- 報酬月額は383,465円(前年比7,057円増)、年間賞与は多数の新卒採用等もあり、微増の925,396円(前年比5,696円増)、総報酬は552.7万円(前年比9.0万円増)。

令和5年度決算数値	
被保険者数	300,279人
平均標準報酬月額	383,465円
年間平均賞与額	925,396円
事業所数	1,621社

<加入員数の推移>



<年間賞与額・平均標準報酬月額の推移(被保険者1人あたり)>



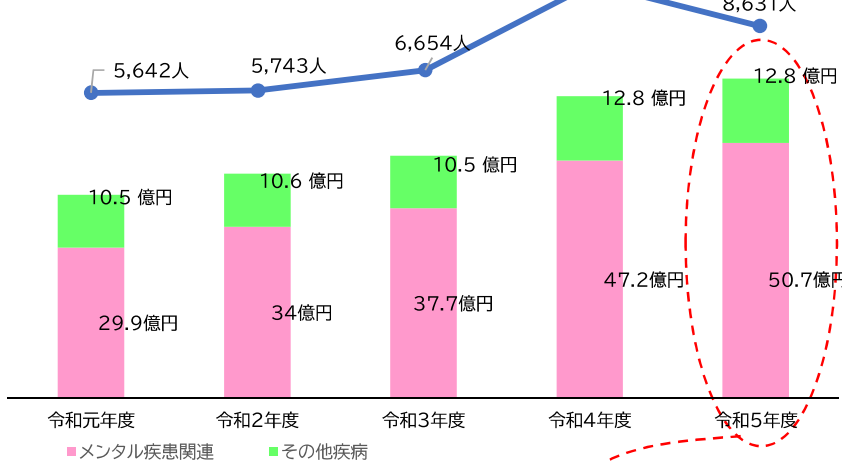
給付の状況

<医療費・医療給付>

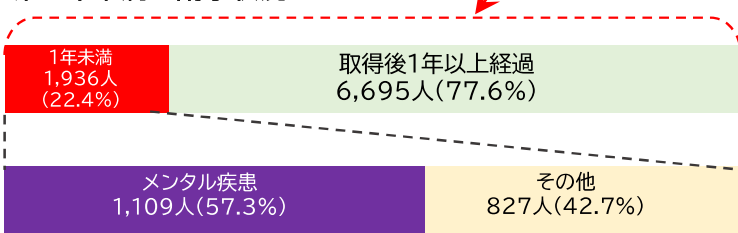
- 新型コロナウイルス感染症上5類へ移行。しかし、疾病自体は市中に一定規模で流行。
- 重篤化しないものの、呼吸器系疾患罹患者への医療行為は継続的に発生、通常の医療行為への回帰とともに、医療費上昇(特に調剤費(対前年比17.5%増))の要因となった。
- 傷病手当金の伸びも課題。前年度の一時的なコロナ罹患者の請求は減少したものの、業界特有のメンタル疾患患者への給付は恒常的、総額63.5億円(前年対比3.5億円増)を支出。
※若年者数増加に伴い、入社歴が浅い方への給付も増加傾向。(右下グラフ参照)
- 保険給付費総額では予算対比19.5億円増、前年対比60.3億円増の716.0億円。

令和5年度決算数値	
現物給付(医療費)	591億4,576万円
現金給付	124億5,699万円
保険給付費全体	716億275万円

<傷病手当金の実支給人数・支給金額>



<入社1年未満の請求状況>



令和6年4月採用実績報告 —TJK加入事業所における4月採用者のまとめ

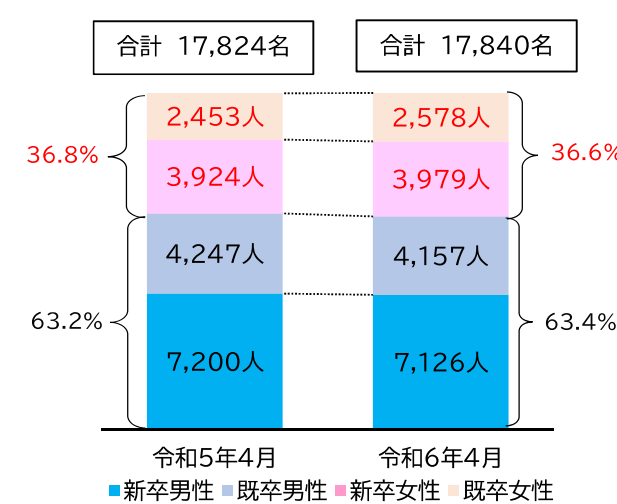
<採用実績>

- デジタル環境進展による人材不足の影響は大きく、各社の採用意欲は旺盛。
- 採用計画人数は過去最高の20,557人となるが、採用状況は“売り手市場”の傾向が強く、採用実績は9年連続計画未達となる17,840人に留まる。
- 全体における新規採用、中途(既卒)採用人数は、それぞれ前年とほぼ同数。
- 報酬については、全体で2.4%増、特に新卒の上昇率が3.4%と高く雇用情勢の厳しさがうかがえる。

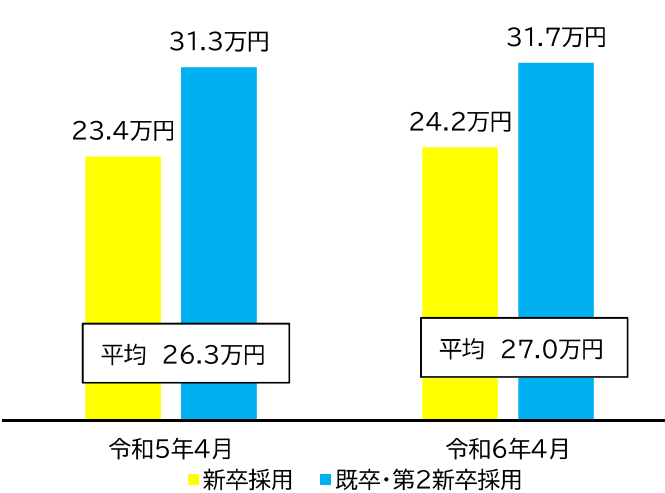
<採用者数>

	令和5年度	令和6年度	前年比
①採用計画(各社計画の採用人数)	18,257人	20,557人	2,300人
②採用実績	17,824人	17,840人	16人
③再雇用/任意継続	1,039人	946人	▲93人
④4月合計	18,863人	18,786人	▲77人
⑤採用計画比(②-①)	▲433	▲2,717	

<男女別内訳>



<標準報酬月額>



“健康経営”を始めて、会社も社員も元気に！

TJKは健康経営・健康企業宣言に取り組む事業所をサポートいたします

健康経営に取り組むことは、従業員の生産性、人材の確保、企業イメージの向上につながります

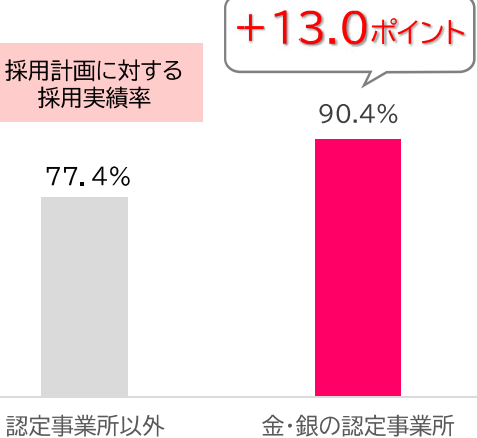
健康企業宣言・認定制度

「健康優良企業」を目指して事業所全体で健康づくりに取り組むことを宣言し、一定の成果をあげた場合は「健康優良企業」として認定される制度です。

運営主体は「健康企業宣言東京推進協議会」で、東京都内の健康保険組合に加入する事業所が参加できます。

銀の認定・金の認定

健康企業宣言にエントリーして職場の健康づくりを進め、取り組みの結果により健康優良企業と認められた場合、STEP1では「銀の認定」、STEP2では「金の認定」を取得できます。認定された事業所は認定ロゴマークが付与され、自社ホームページや名刺等に掲載することが可能です。健康優良企業として対外的なアピールとしても、ご活用いただけます。

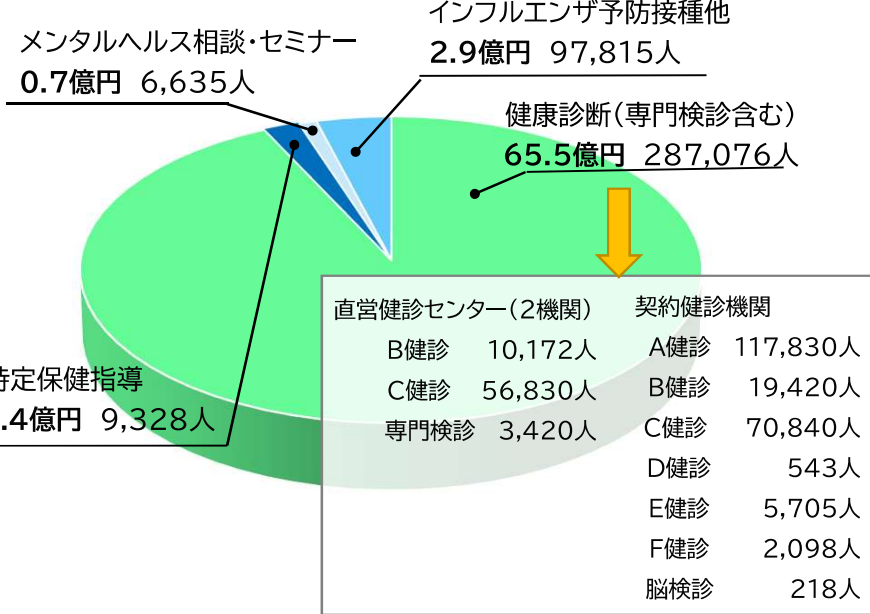


健康管理事業の状況

令和5年度の健康管理事業

- コロナ禍感染防止対策のため、抑制していた直営2施設の受診枠を段階的に増加。前年対比で約8,000人枠を回復、直営開設以来、最高の年間67,002人受診（専門検診含めて70,422人）。
 - 契約健診での受診を含めた総受診者数は28.3万人、受診率81.6％は過去最高値。
- 直営健診でのキャンペーン実施や契約健診機関受診申出窓口の創設、対象者の居住地に応じた受診奨励DM送付等、積極的な受診奨励策を実施。
 - 健康経営支援、メンタル疾患予防対応セミナー、加入個人の腎症重症化防止、生活習慣病予防事業等、プライオリティの高い健康管理事業として、多様な対策を実施。

<各事業の利用状況>



令和5年度
メンタルヘルスセミナー

<対面>

- ・管理職と管理部門のためのメンタルヘルスセミナー
- ・メンタルヘルスカウンセラー育成セミナー
- ・子どもの成長・発達と子育てのポイント
- ・総務・人事担当者のためのメンタルヘルスセミナー

「発達障害」への理解と対応、等

<オンライン>

- ・メンタルヘルス基礎研修
- 一新・中軸世代コース、等

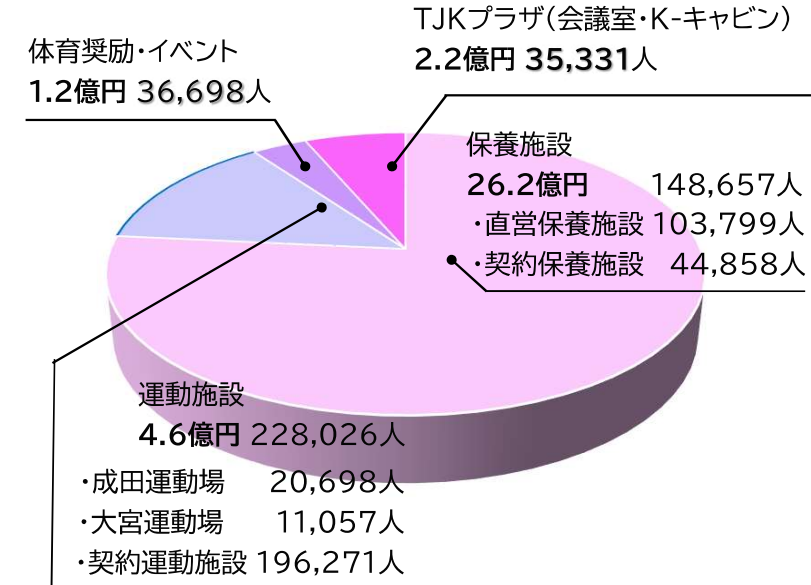
項目	事業内容
◆ TJK直営健診センター(2機関) ・受診枠の段階的引き上げ ・検査精度の向上 ・胃部内視鏡検査料金の引き上げ ・医療機器および予約システムの更新	① 受診枠の段階的な引き上げ ② 受診者からの要望の多い「胃部内視鏡検査枠」の拡大 ③ 胃部X線検査との経費差に応じた受益者負担 ⇒胃部内視鏡検査の料金改定 ④ 予約システムの機能追加／更新、MRIおよびマンモグラフィーの入替え
◆ 加入員の健診受診率向上	① <直営健診センター>家族受診率向上を目的に「初めて直営を受診したご家族」、「夫婦で同日受診された方」へQUOカードプレゼント ② 予約や過去の受診履歴に応じたDMを発送 特に地方在住のご家族へは近隣健診機関の一覧を同封
◆ 事業所ニーズや、現状の環境に対応したメンタルヘルス事業の展開	① 相談しやすい環境整備 ② 「対面型」、「オンライン型」を併用したセミナーの開催 ③ コロナ禍や現在の傾向を踏まえた新規セミナーの開催 (発達障害、子育てに関するセミナーの開催)
◆ 健康経営とデータヘルス計画の推進	① 健康企業宣言に取り組む事業所へのサポート体制の強化 ② 健診結果とレセプトデータを活用し組合員の健康づくりを推進
◆ 感染症予防対策	インフルエンザ予防接種の補助金の継続
◆ 効率的な健康管理支援情報の提供	① 健診結果(法定項目)の事業所へのデータ配信を実施 ② 社員の健康づくりや職場の環境づくりに有効な各種数値情報の提供

健康増進事業の状況

令和5年度の健康増進事業

- 顧客の需要と期待に応え、高品質・高満足度の直営TJKリゾートは“安近短”で“最良のおもてなし”、平日稼働率、利用人数(初の10万人超)ともに過去最高値。
 - 一アルペンドルフ白樺、TJKリゾート金谷城ーオープンより30年以上経過、3か年計画で新しいコンテンツを創出する2年目。
- 全国に在住、増加する加入員の皆様に対するサービス維持、向上のため、年間借上、夏季借上の大幅増設、新たに“週末借上”契約。
 - ファミリーイベント等の募集人数や回数増、女性ニーズに応えたホットヨガ“LAVA”との契約等、“より広く、より多く”の方への価値を提供。

<各事業の利用状況>



『将来につなぐ新しい挑戦』
アルペンドルフ白樺／TJKリゾート金谷城

ALPEN DORF 白樺
令和5年OPEN!

大浴場「コモレビの湯」 リラクゼーションスペース／ワークスペース等

令和6年3月OPEN!
『金谷城温泉』みなもの湯

項目	事業内容
◆ 直営事業の品質向上、プラス価値、プラス魅力への投資	① アルペンドルフ白樺、価値アップ計画 新たな浴場「コモレビの湯(木立・日和)」を新設 付帯施設をリニューアル ② TJKリゾート金谷城、魅力度アップ計画 「金谷城温泉」を使用した大浴場「みなもの湯(青海・安房)」をリニューアルオープン 本館ダイニングやアネックス1階を南国リゾート風に改修 本館⇄アネックスの導線を南国リゾート風にリメイクし安全性・品質を向上
◆ 加入員増加に対応し“多くの顧客に価値を届ける”ための事業再設計	● サービス、メニュー、プログラムの見直し ・加入員増加に伴う借上保養所3つの増設プラン 新規年間借上・夏季借上増設・週末借上新設 ・TJK成田ゴルフコース平日利用改革 金曜日を繁忙日扱いに変更しメンバーの予約を取りやすく ・新しいフィットネスプログラムを導入 女性に人気のホットヨガスタジオ“LAVA”と契約 ・健康増進イベントの充実 高倍率イベントの募集拡大で約6,000人増員
◆ 諸物価高騰による直営・借上施設の需給バランスと受益者負担の適正化	● 直営保養所・借上保養所の料金改定 ・現行サービスを維持するため令和5年6月より実施 食材・リネン・アメニティー・光熱水道費の上昇分、約1,120円の約半分550円を受益者負担分として増額(借上施設も同様)

令和6年12月2日

健康保険証は**廃止**となり、**マイナ保険証※**に**一本化**されます。

※マイナ保険証・・・健康保険証として利用登録したマイナンバーカード

- ✓ 発行済の健康保険証は、**最長1年間**(令和7年12月1日まで)使えます。
ただし、氏名変更や紛失した場合は、新しい保険証が発行されないため、マイナ保険証へ切り替えていただくこととなります。
- ✓ 『健康保険の資格情報』は、以下の①～③のいずれかでご確認いただけます。
 - ①現行の保険証(令和7年12月2日以降および資格喪失後は無効となります)
 - ②マイナポータル
 - ③「資格情報のお知らせ」(ご自身の資格情報を確認するための通知) ※TJKホームページ閲覧を予定
- ✓ **廃止前**にご自身のマイナンバーが適切にTJKに登録されているかTJKホームページでご確認をお願いします。

10月
下旬頃

保険証の廃止に備え、以下について**TJKホームページよりご確認**をお願いいたします

対象 **既存**加入員の方

①「**資格情報のお知らせ**」

趣 旨: TJK資格情報の確認

表示内容: 記号・番号・枝番・氏名・性別
資格取得日・生年月日等

②TJKに登録されている**マイナンバー下4桁**

趣 旨: マイナンバーが適切にTJKに登録されているかの確認

確認方法: ご自身のマイナンバー下4桁を入力後に、TJKの登録と一致しているかを表示予定

12月2日
以降

健康保険証の新規発行廃止に伴い、以下の対応を行います

対象① **新規**加入員の方

『**資格情報のお知らせ**』を交付
※交付方法については、現在検討中です。

対象② マイナ保険証**未登録**の方

『**資格確認書**』を交付
※様式、交付方法については現在検討中です。

『資格情報のお知らせ』イメージ



切り取って携帯

医療機関の受診の際は、原則としてマイナンバーカードを提示



✓ システムトラブル等でマイナンバーカードで資格が確認できない場合

①マイナンバーカード+『**資格情報のお知らせ**』

②マイナンバーカード+「マイナポータル」の画面提示

上記①または②いずれかの方法で受診可能

✓ マイナ保険証未登録者は、『**資格確認書**』を提示

TJK事業(保養所、健診施設等)における資格確認については、
WEB閲覧システム等による対応を検討しています

TJKにおけるマイナンバー登録率

マイナンバー登録率 **98.8%**

マイナ保険証登録率 **55.7%**

マイナ保険証利用率 **7.6%**

マイナ保険証への切り替えに
引き続き加入事業所の皆さまの
ご協力をお願いいたします

- ✓ 取得届と同時のマイナンバーのご提出
- ✓ 保険証の廃止やマイナ保険証への切替を社員の皆さまへご案内

どうぞよろしくお願いいたします。